

人材養成・確保

国際社会の大きな変化に伴い、援助ニーズも日々多様化し、複雑になってきています。これらのニーズに的確に対応するプロフェッショナル人材を確保するため、さまざまな取り組みを行っています。

人材の確保

JICAのさまざまな事業の第一線で活躍する専門家は、公示を経たコンサルタントとの契約によって実施されるものを除き、「国際キャリア総合情報サイト(PARTNER)」*1を通じた公募や関係機関などからの推薦審査によって選ばれています。優れた専門家の派遣を通じ、開発途上国でより良い活動が展開されるよう、適切な人材の確保に努めています。2018年度より、海外拠点で事業形成や実施監理を担う企画調査員については、ロスター登録制度の導入と一括募集を開始しました。

また、直ちに国際協力の現場で活躍できる人材として、国際協力専門員や特別嘱託の確保に努めています。特に国際協力専門員は、専門分野における卓越した知見を活用して、JICA事業の質の向上に貢献しています。

将来を見据えた人材の養成

1. インターンシップ・プログラム

国際協力に関する理解を深め、また将来の国際協力人材を養成することを目的に、大学生、大学院生、社会人を対象としたインターンシップを行っています。2018年度は、内外の拠点や本部で101名を受け入れました。

2. ジュニア専門員

中長期的に人材不足が懸念される分野において、一定の専門性と職務経験、海外での活動経験を有する人材を対象に、将来の専門家養成に取り組んでいます。研修終了後は、専門家として海外の事業現場への赴任が想定されます。

即戦力となる人材の養成

国際協力の潮流や新たな課題に関する知識習得を目的に「能力強化研修」を行っています。2018年度は22コースを開催しました。そのうち「都市開発・まちづくり」「災害からの復興支援」「気候変動対策と開発」「開発協力のプロセス・マネジメント」は、新たな援助ニーズに応じて新設したものです。

赴任決定者に向けた「赴任前研修」も毎月開講しています。この研修ではODAやJICA事業の概要、組織・事業

2018年度の実績

人材確保

国際協力専門員	106名
特別嘱託	42名
公募・推薦審査による専門家(企画調査員を含む)	883名*2

人材養成

インターンシップ・プログラム	101名
ジュニア専門員	20名
能力強化研修	503名
専門家赴任前研修	307名

国際協力キャリア総合情報サイト(PARTNER)

PARTNER登録者数(累計)	37,740名
PARTNER登録団体数(累計)	1,723団体
求人(JICA以外)、研修・セミナー情報提供件数	3,662件
キャリア相談件数	218件

のマネジメント手法や経理実務、また安全や健康面での留意事項などについて講義や演習を提供しています。

国際協力に関わる人材の拡大

「国際キャリア総合情報サイト(PARTNER)」では、「オールジャパンでの国際協力活動推進」という理念の下、JICAだけでなく、国際機関、開発コンサルタント、国際協力NGO/NPO、政府・地方自治体、大学、民間企業など、幅広い実施主体の情報を一元的に発信しています。個人登録者数は3万7,000人以上、登録団体数は1,700以上に達しました。求人、研修・セミナー、各種イベントの最新情報を多数掲載しており、国際協力業界の情報プラットフォームとして活用されています。

PARTNER事業では、世界を舞台に活躍するためのキャリア形成に関するセミナー開催やキャリア相談なども実施しています。2018年度は、国際キャリアにおける多様なアクターやロールモデルを紹介する「国際キャリアフォーラム」を東京、名古屋、福岡で開催しました。また、国際協力分野の仕事を紹介する「JOBセミナー」では、国際機関、地方創生、持続可能な開発目標(SDGs)、理系女子学生を対象とした国際協力キャリアなどをテーマに取り上げました。

*1 詳しくは <http://partner.jica.go.jp/> をご覧ください。

*2 公募・推薦審査による専門家(短期・長期)のうち2018年度中に新規派遣された延べ人数。業務実施契約コンサルタントの専門家等は含まれません。